

# だんだん通信 12月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。



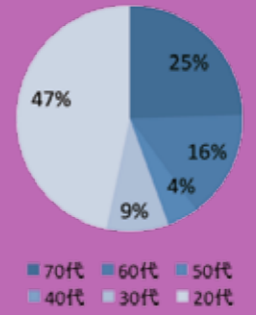
## 数字でみるやってみよう会議

住みたい、住み続けたい男山地域であるために、幅広い世代が集い、まちづくりについて話し合い、具体的な取組みを重ねる「男山やってみよう会議」今月号はやってみよう会議を数字で分析してみます。

# 5 ↓ 10

- 活動チーム数
1. 夢プロジェクト / 八幡・男山の資源を題材に子ども向けのイベントを企画 H27～継続
  2. 防災 / 日常から防災を考えるきっかけづくりとして、防災訓練などに出張 H27～継続
  3. DIY / Do It Yourself の精神でものづくりコミュニティ形成をテーマに活動 H27～終了
  4. ヤバイまち歩き / 地域の魅力再発見を目的として、まち歩きを開催 H27～継続
  5. だんだんテラス継承・拡充 / 団地再生勉強会、常駐、コラムの執筆 H27～継続
  6. こども食堂 / 高齢者・こどもの孤食をテーマに毎月 1 回こども食堂を開催 H28～新規
  7. 8 gram / 男山出身の大学生チーム . SNS を活用した地域情報の発信 H28～新規
  8. 手作り市 / ものづくりコミュニティ形成をテーマに毎月 1 回手作り市を開催 H28～新規
  9. 緑道 de 遊び隊 / 男山団地の緑道を活用したイベント企画やツール開発 H28～新規
  10. 痛快田舎芝居だんだん一座 / 田舎芝居コミュニティ形成をテーマに活動 H28～新規
  11. フォークソング / フォークソング愛好家コミュニティ形成をテーマに活動 H28～新規

参加者年齢構成



今年度、活動に参加している 45 名の年齢構成をみてみました。20代・30代が約半数を占めており、若年層が多く参加していることがわかります。次いで、退職を迎えた 60代・70代が 41% と、高い割合を占めています。働き盛りといえる 40代・50代が他の世代と比較し、参加者の少ない世代ということがわかります。

男山やってみよう会議では「住みたい、住み続けたい男山」を目標に活動を行っています。各チームが、このテーマを共有しつつ、自立的かつ自発的にまちづくりに関わることで、取組み当初は、誰も想定もできなかったような活動が生まれ、広がりをみせているといえます。これまで地域のまちづくりを支えてきた世代とこれから地域のまちづくりを担う若い世代が互いに意見を交わし、価値観を共有し、共に活動を展開している点もこの取組みの特徴といえそうです。

## 奥野智士さん（関西大学大学院/建築環境デザイン研究室） 最終回 だんだんテラスと私

学生である私にとって、だんだんテラスは研究室です。ここに関わるようになってから、より現実的に物事を考えさせられる機会が増えました。毎日を悩ませてばかりです。しかし、とても楽しくもあり、充実感があります。それは、自分たちの考えている事を実際の場所で議論、実施できる環境にあるからではないでしょうか。そして、たくさんの方々に見てもらい、話を聞き、必要に応じて柔軟に対応する。このような事は大学で机に向かっていただけでは絶対に経験できません。単なるボランティアでは無く、研究という目的を持った学生という立場で関わっているからこそ、とても価値のある時間を過ごせているのかもしれない。ここで経験した事はこれから先の仕事にも必ず生きてくると思っています。

**だんだんテラスと私** 連載終了にあたり「30号ぐらいまで続いたら、ここもいい場所になれているかな」漠然とそんな想いで始めてみたのが「だんだんテラスと私」。それぞれの「私」にある「だんだんテラス」にはいつも発見があり、その重なりをずっと見つめていました。これまで執筆頂いた方々には本当に感謝いたします。今後とも是非その関係を深めて頂ければ幸いです。辻村

## おもいやりのある場所に

団地の緑道を散歩していると、きれいに植えられた草花を見かけることがよくあります。きっと、住民ひとりひとりが庭いじりの感覚で手の届く範囲を綺麗にしているのでしょう。「自分たちの住んでいるまちは自分たちでつくる！」と言うには少し大げさですが、好きなことの延長線上に場所への思いやりが自然と存在し、そんな意識が緑道中に広がれば、団地はもっと個性豊かで楽しいまちになるのだと思います。

## ■ 予定

### 火曜日健康麻雀やっています！

実施日：第1・第4火曜日  
時 間：13:30～16:30  
場 所：だんだんテラス  
参加費：100円  
内 容：飲まない！吸わない！賭けない！  
頭や指先を使って健康になるための麻雀を開催します！初心者も歓迎！

### 手作り市 and フリマーケット

実施日：12月8日（木）  
時 間：10:00～15:00  
場 所：男山中央センター商店街  
内 容：ものづくりをする人、手作り品が好きな人が地域で交流できる場づくりを目的として手作り市を開催します。

### 改修モニターまだまだ募集中！ 第2・4土曜住まいの相談会

実施日：12月10日、24日（土）  
時 間：14:00～17:00  
主 催：だんだんテラス  
京都府建築士会  
場 所：だんだんテラス  
申 込：不要

### だんだん朝市

実施日：毎週火・木・日曜日  
時 間：10:00～完売まで

### だんだん Dang Dang BAR

実施日：毎月第2、第4金曜日  
時 間：18:00～21:00

### NEW！ フォークソング好き集まれ

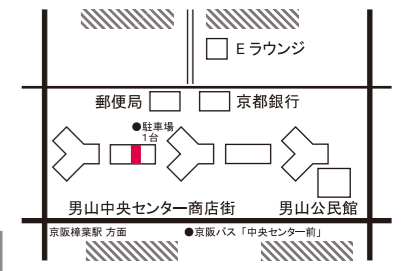
日 時：《だんだんみんなで歌ってみよう》  
12月21日（水）10:30～1時間程度  
《フォークソング愛好会》  
12月25日（日）14:00～

### ハガキ絵教室

実施日：毎月第2、第4月曜日  
時 間：10:30～11:30  
参加費：600円

### のら猫不妊手術相談会

主 催：八幡地域ねこを考える会  
実施日：毎月第3木曜日  
時 間：13:00～16:00



## だんだんテラス

住 所：京都府八幡市男山八望 3-1 B47-104  
男山中央センター商店街  
アクセス：京阪バス「中央センター前」下車  
Eメール：dandan.terrace@gmail.com  
**だんだん通信12月号**  
発行日：2016年12月1日  
発行元：だんだんテラスの会  
編 集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト  
奥野 智士 / 関西大学大学院  
中居 節子 / 住民記者

# リノベーション住戸 来年1月募集開始

男山団地A地区において、関西大学団地再編プロジェクトとURによるリノベーション住戸が完成し、1月下旬に一般モデルルーム公開、入居者の募集を行います。

今年の住戸は「暮らしを楽しめる空間」がそれぞれの住戸に用意されており、自分のライフスタイルに合わせて、多彩な暮らしが実現できるプランとなっています。

その中の一つ「住み続けたい住まい」では、男山の豊かな外部環境を取り込む窓、対面型のキッチン、襖や壁のアクセントカラーなど、これまで改修したリノベーション住戸で好評だった改修を取り入れて設計をしました。

部屋の中からは、カラフルな駐輪所の屋根やバルコニーの手摺が見え、実際の広さ以上の奥行き感をうんでいます。

1月には、設計に携わった学生による「リノベーション住戸内覧ツアー」も予定しています。詳細は、だんだん通信1月号に掲載しますので、ぜひご覧ください。

## 今年のリノベも、すごく良い。



大田美奈子  
関西大学大学院2回生

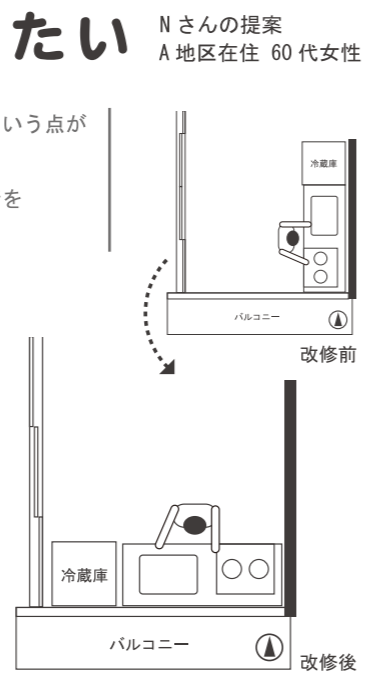
松下航大  
関西大学4回生

松原一樹  
関西大学大学院1回生

取材を受けているのは、今年的设计に携わった学生達。取材場所となったこの住戸も今年度募集のリノベーション「住み続けたい住まい」(A50-504)です。一般モデルルーム公開、入居者募集は、1月下旬を予定。

# 改修アイデア集まりました！

10月に開催したDIYイベントにて、7月号で募集をした改修提案コンテストの投票を行いました。今月号では、集まったアイデアを大公開！実際に改修したいという方は、毎月第2・4土曜日にだんだんテラスにて開催している「住まいの相談会」へぜひお越しください！



Nさんの提案  
A地区在住 60代女性

台所にいながら男山団地の緑を感じる事ができるという点がみなさんの共感を集めたのではないのでしょうか？限られたスペースでは、冷蔵庫の大きさや置く場所を工夫すると広々と暮らすことができそうですね。

### 最優秀提案

## 緑を見ながら台所仕事をしたい

#### 改修箇所

- ・キッチン
- ・ダイニング

#### 課題点と要望

- ・団地の緑を楽しみながら、台所仕事をしたい。
- ・キッチンとダイニングの建具を1枚分に引き込める様にしたい。

#### 提案

- ・南ベランダに面した側にキッチンを移す。
- ・冷蔵庫横に建具が引き込まれるように3本レールにする。
- ・もの干し吊り具を一カ所増やす。



最優秀提案に選ばれた「緑を見ながら台所仕事したい」は、昨年のリノベーション住戸で一部実現しています。今回の提案は、冷蔵庫の置き場も工夫されており、実現性の高さも評価できます。

### 優秀提案

## 物を貯めたいタンスのいらない暮らし

#### 提案

押入を取り、室を広げる。天袋はそのまま残す。押入の襖を引き戸にして廊下に入り出来るようにする。(抜粋)

### 優秀提案

## 使い勝手のいいトイレに

#### 提案

ペーパーホルダーの取替え。小さな棚の取付け。些細なことで暮らしやすくなる提案を考えました。(抜粋)

### 注目度の高いポイント 水回り をサキドリ！



### A47-206 インナーバルコニーのある住まい

## 南側の1部屋を 生活を楽しむ玄関先に リノベーション

玄関からバルコニーまでをひとつなぎにしました。いろんな人・もの・できごとを受け入れながら他者とつながる場所を考えました。

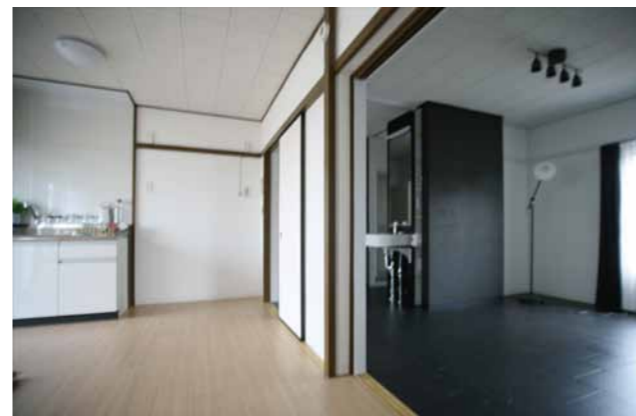


昨年、一昨年と見学者から注目の高かった水回りは、今年も色々工夫を凝らしています。

### A47-503 ロビーラウンジのある住まい

## 趣味や仕事の場と 居心地のいい生活の場 を1つの住まいに

雰囲気異なる2つの大きな部屋が、1つの住まいに共存することで、メリハリのある暮らしを実現できる住まいを考えました。



### ＼きれいなまち／

## 男山 新住民の つぶやき

京都市はきれいな町ですね。その美しさを支えている地味な習慣に「門掃き」というのがあります。家の前の歩道、道路の端、植え込みのあたりを毎朝ゴミを掃き清めます。朝6時を過ぎた頃から歩きますと、あちこちに門掃きをしている市民の姿が見られます。90歳前後のおばあさんに聞いた話ですが、「嫁になって初めて大阪に行った時、道路に紙くずが落ちていたのを見てびっくりした」と言っていました。戦前、京都市では歩道でも車道でもゴミを見たことがなかったそうです。

中国の人達が日本を旅して感嘆することの一つに、道にゴミが落ちてなく清潔だということがあります。「この日本人の民度には我々は遠く及ばない」など、ネットを見れば数多くの人達が投稿しています。過日聞いた藤沢久美さんの講演でもIMFの会議でやってきた世界の要人達が、東京の街と人の佇まいの



いつもきれいな松花堂前の通り

美しさに感心し、「経済が衰えていっている国のように見えない。もっと荒れていると思っていた」と言っていたということが紹介されました。

多くの日本人が始めて海外旅行を楽しみだした60年代、ヨーロッパの街の美しさに衝撃を受け、羨ましく思いました。それから半世紀、ずいぶん改善されて外国から美しいと思われ所までできています。とても美しかったヨーロッパの街も、紙くずが風に舞って道や野に散乱し、汚くなってしまった所もいくつもありません。街はどのようにも変わっていくのですね。

八幡市でもボランティアの人達が心を込めて清掃している松花堂前の通りはとてもきれいです。市のどこでもあのようになればいいと思います。